



「なぜ君は歌うのか」

学年主任 對馬 洋介

今更ですが、2学期の終業式の話。富士校長と登壇した高校3年生の先輩との会話を覚えていますか。

富士先生「寝る前に何をしているの」

先輩「新聞の記事読んでいます」

富士先生「なぜ新聞を?」

先輩「社会科の先生が僕に記事を度々くれるのです。

なんだか読まないのは申し訳ない気がして...」

といったような内容だったと思います。

彼は帰宅し、部屋にあるその記事を見ると、その先生が新聞を読み、自分のためとなる記事を見つけると丁寧に切り抜いている姿、もしくは翌日職員室でコピーしている姿が目には浮かぶのではないかと私は想像します。その記事は紙から“Gift”に変わっているのです。だから彼は寝る前に記事を読みます。“Gift”である以上「お返し」をしたいのです。そして彼は翌日に先生と記事の内容に関する会話をしたと思います。先生も“Gift”を貰い、嬉しいことでしょう。

来週はいよいよ合唱祭。歌うのに自信がない人、あまり歌いたくないという人、それほど真剣に歌っていない人もいるかもしれない。そんな人たちへ一言。伴奏者の奏でるピアノの音は、クラスへの“Gift”です。自宅で練習している姿を想像できれば、貰いっぱなしでわけにはいかなくなるでしょ。精いっぱい歌う必要があることはわかるでしょ。これはほんの一例です。指揮者、合唱委員、パートリーダー等々も然りです。

「うしろめたい」、「貰いっぱなし」と思えるならば、今よりちょっとだけ頑張っって練習し、歌ってみたら良いと思います。ほんの少しだけど、心も軽くなるはず。合唱は歌う側の気持ちを歌詞とメロディに載せ、人に伝えるものです。その頑張った気持ちはクラスの仲間全員への「お返し」だと私は思います。ぜひ“Gift”を送りあう皆の姿、合唱を通じて我々にも見せ、聴かせてください。



《合唱祭》各クラス曲、コメント等を歌う順に紹介します。

①1年D組「にじいろ」

この曲は、比較的音域が低く、歌いやすい曲でした。しかし、アルトの音程を取るのが難しかったり、リズムがそろっていない所があったりと、上手くいかない時もありました。そんな時でも、あきらめずに一生けん命頑張りました。みんなで心をつ一つにして歌います。ぜひ聴いてください。

②1年C組「愛唄」

始めは全然3パートがそろわず、大変だったけれど、練習をつんでいくうちにクラスに団結力が芽生え、クラスが一つになりました。そんな私たちの想いが届くように歌います。聴いてください。

③1年B組「ひこうき雲」

この歌を歌うと決まった時、はじめての合唱祭で分からないことがたくさんありました。けれど、先生の指導とみんなで力を合わせて、練習に励むことができました。1年B組34人で最高に素晴らしい歌声を響かせます。1Bらしい合唱で目指すは金賞。「攻め」の歌声を是非、聴いてください。

④1年F組「遠く遠く」

私たちは、これまで一生けん命練習し、この曲を創り上げて行きました。この曲の歌詞に「僕の夢を叶える場所はこの街と決めたから」とあります。将来の自分を想像しながら歌うように、心がけました。1年間の絆を胸に秘め、今 歌います。

⑤1年E組「キセキ」

はじめて「キセキ」の3部合唱を聞いたとき、こんなに素晴らしい合唱が私たちにできるのかと不安でした。練習では、3つのパートがなかなかそろわず苦労しましたが、声をかけ合い互いに気持ちを高め、心をつ一つにしていきました。キセキを信じて歌います。私たちE組がつくりあげた「キセキ」、聴いてください。

⑥1年A組「YELL」

この曲は1年生の私たちが歌うには難しい曲だったと思います。なので何回もぶつかり合いました。でも、みんなで決めた曲だから。毎年先輩方が歌っていた曲だから。みんなで協力して団結して心を込めて歌う。ありきたりなことだけど、これが大切なことだから。1Aの絆である歌声を聴いてください。

◇学年合唱「ふるさと」

はじめての合唱祭で人数も多く音をそろえるのが大変でしたが、皆で協調する大切さに気づきました。練習する中で大変なこともありましたが、形にできました。私達が今できる精一杯を見せるので、ぜひご静聴ください。

- ・1/22(月) 自宅学習日(本校高校推薦入試実施日)
- ・1/23(火) 通常授業
- ・1/24(水) 合唱祭りハ(昼食持参) 学校登校(時間はクラス毎)→11:00~12:00 学年合唱練習
→なかのZEROへ移動→移動の順序等の確認→現地で15:30過ぎに解散予定
- ・1/25(木) 合唱祭当日 なかのZEROに直接集合し、9:00に出欠確認 12:30終演解散予定
(実行委員や午後の高校の部を観覧の生徒のみ弁当持参)